

メディア情報
October 2016

機敏、多彩、EV走行： MINI COOPER S E COUNTRYMAN ALL4。



P90240780.jpg

MINI特有の走る愉しみが環境に優しい体験に。MINI Cooper S E Countryman ALL4は、プラグインハイブリッドモーターによる完全なEV走行の可能性、そして排気ガスを全く排出しない移動を提供しながら、スポーティな機敏性と優れた多彩性を実現する英国高級ブランド初のモデルです。効率的な推進力は3気筒ガソリンエンジンと同期電動機がもたらします。この2つが合わさり、165kW/224PSの最大出力を発揮します。同様に印象的なのが、平均燃費量2.1L/100km、そしてCO₂排出量49g/km（プラグインハイブリッドカーのEUテストサイクルでの値）。MINI Cooper S E Countryman ALL4は、例えば自宅から職場までの毎日の通勤には完全な電気による移動性を利用し、週末には制限なしに長距離走行を楽しみたいという都市在住のターゲット層にとって理想的な車両となっています。

MINI Cooper S E Countryman ALL4は、環境に優しいBMWグループのeDriveテクノロジーを備え、新世代モデルのなかでも最大の車両において数々の室内コンセプトと電動機による全輪駆動とを組み合わせています。この車両では、エンジンから前輪に、電気モーターから後輪に動力が伝えられます。MINI Cooper S E Countryman ALL4は、都市の中に限らず、広い範囲でのEV走行が可能で、最高速度は125km/h、走行距離は約40kmです。また2つのモーターからの動力により、オフロードでも爽快な走行を楽しめます。「プラグインハイブリッドモーターは新型MINI Countrymanにぴったりです。インテリジェントな全輪駆動コンセプトを装備し、市街地走行でも長距離走行でもEV走行が可能です。このセグメントでは

Firma
Bayerische
Motoren Werke
Aktiengesellschaft

Postanschrift
BMW AG
80788 München

Telefon
+49-89-382-23662

Internet
www.bmwgroup.com

メディア情報

Date October 2016

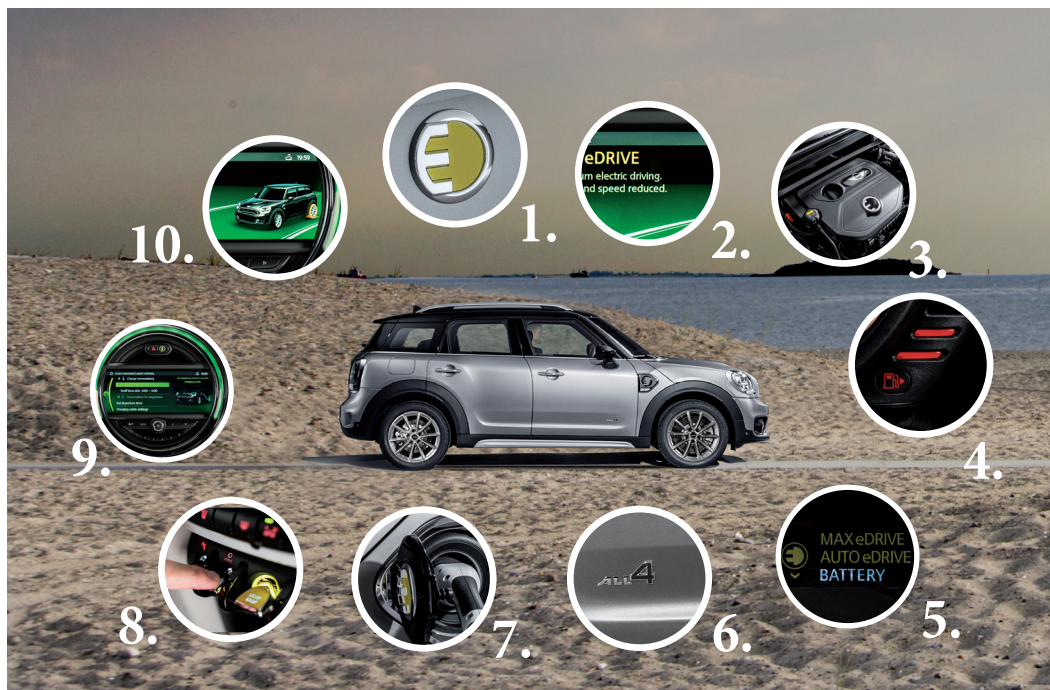
Topic 新型MINI Cooper SE Countryman ALL4。

ページ 2

ユニークな存在です」とMINI Cooper S E Countryman ALL4のプロジェクト責任者のウヴェ・ザイツは述べています。

MINI Cooper S E Countryman ALL4: ハイライト一覧。

- ブランド初のプラグインハイブリッドカー。(1.)
- BMW iPerformance自動車の開発から得たノウハウをもとに、BMWグループの質の高いeDriveコンポーネントをモデルに合わせて構成。(2.)
- 3気筒ガソリンエンジンと電気モーターにより、合わせて165kW/224PSの最高出力を実現。(3.)
- EUテストサイクルでの総合燃料消費量: 2.1L/100km、CO₂排出量: 49g/km。(4.)
- 最高速度125km/h、最長40kmのEV走行が可能。(5.)
- 電動の全輪駆動ALL4による新鮮な走行感。(6.)
- 大容量のリチウムイオンバッテリーをWallboxに搭載、2時間15分で充電可能。(7.)
- eDriveトグルスイッチで3種類のオペレーションモードを選択可能。(8.)
- ハイブリッド専用のディスプレイ。(9.+ 10.)



メディア情報

Date October 2016

Topic 新型MINI Cooper SE Countryman ALL4。

ページ 3

MINIは電気自動車の分野でもパイオニアです。

優れたテクノロジーと豊富なモデルで電気自動車の分野でも最先端を行くBMWグループ。そのために、MINIは早くからパイオニアとしての実験を試みてきました。2008年に紹介されたMINI EはBMWグループ初の完全な電気自動車で、個人利用者によって日常走行における幅広い実証実験が行われました。MINI Cooperを基本にして開発された600以上のモデルが、世界各地での実証実験に使用されました。ここから、完全な電気自動車利用についての貴重な知識が得られ、BMW i3の開発に導入されました。

MINIツインパワー・ターボ・テクノロジーとeDriveテクノロジーの統合。

MINI Cooper S E Countryman ALL4のプラグインハイブリッドエンジンは、最高の

ガソリンエンジンと電気モーターを統合しています。前面ボンネットの下、従来エンジンが配置されてきた場所には、BMWグループの最新世代のエンジンからMINIツインパワー・ターボ・テクノロジーを備えた3気筒ガソリンエンジンが搭載されています。排気量1.5Lのエンジンが最高出力100kW/136PSを発揮し、1,250min⁻¹時で、220Nmの最大トルクを実現します。MINI Cooper S E Countryman ALL4では、エン



P90240798.jpg

ジンを、モデル特有の6速ステップトロニック付きトランスミッションと組み合わせました。これがMINI独自の原則によって、その動力を前輪に伝えます。

ラゲージルームの床の下にはMINIの2つ目の動力源として電気モーターが収納されています。ハイブリッド同期電動機の実験からつくられた電気モーターはとりわけ、その大きさと重量と比べても非常にパワフルな65kW/88PSという最大出力と165Nmの最大トルクを発揮し、MINI特有の停止状態からの加速性能を実現します。また、高速での走行時における安定した動力伝達と非常に高い効率性も特徴的です。電気モーターは2段階のシングルスピードトランスミッションで後輪に動力を伝えます。

メディア情報

Date October 2016

Topic 新型MINI Cooper SE Countryman ALL4。

ページ 4

リチウムイオン電池: 独自のノウハウで開発されたコンパクトで強力な電池。電気モーターの直前、後部座席の下には大容量のリチウムイオン電池が配置されています。それぞれ16の電池をもつ5つのモジュールから構成されるこのリチウムイオン電池は、BMWグループのeDriveテクノロジー開発拠点であるディンゴルフィング工場で生産されています。大容量電池は7.6kWh容量を有します。3.6kWの最大蓄電容量をもつWallboxでは、2時間15分でフル充電が可能です。従来型の家庭用コンセントからの充電の場合は、3時間15分を要します。



P90240782.jpg



P90240781.jpg

インテリジェントなエネルギー管理により、走る愉しみと効率性を最適化。

プラグインハイブリッドシステムのパワーエレクトロニクスが制御するインテリジェントなエネルギー管理により、あらゆる状況で走行の楽しみと効率性が最適化されるようエンジンと電気モーターが組み合わせられます。日常走行の様々な状況において、MINI Cooper S E Countryman ALL4は電気モーターの動力のみで、排出ガスを全く排出せずにブランド特有の走る愉しみを発揮します。非常にダイナミックな加速の際には、電動機がブースト機能を用いてエンジンを支援します。165 kW/224 PSの総合出力と、合計で385Nmのトルクが、スポーティな加速性能を生み出します。MINI Cooper S E Countryman ALL4の0~100km/h加速は6.9秒を記録します。

メディア情報

Date October 2016

Topic 新型MINI Cooper SE Countryman ALL4。

ページ 5

2つのモーター、4つの駆動車輪。

2つのモーターのうち1つのみを使って走行している場合、トラクション、走行安定性、機敏性の最適化のために2つ目のモーターをいつでも導入することができます。その際、走行状況と運転手の希望を常に解析しているダイナミック・スタビリティ・コントロール (Dynamische Stabilitäts-Control、DSC) の制御機器から信号が発されます。「その結果、あらゆる天候条件と路面において完璧な走行を確保するインテリジェントな全輪駆動が生まれました」と、MINI Cooper S E Countryman ALL4のプロジェクト開発責任者のウヴェ・ザイツは言います。エンジンによる前輪駆動と電気モーターによる後輪駆動の正確に制御された関係は、既にBMWのi8で採用されているコンセプトに基づいており (ただし、i8ではこの逆)、このコンセプトがプラグインハイブリッドスポーツカーの非常に優れた特質に大きく寄与しています。



> LINK Video MINI Cooper S E Countryman ALL4プロジェクト責任者、ウヴェ・ザイツ



P90240784.jpg

メディア情報

Date October 2016

Topic 新型MINI Cooper SE Countryman ALL4。

ページ 6

eDriveのトグルスイッチ: ボタンを押すだけで完全EV走行。
運転手はeDriveのトグルスイッチで、3つのオペレーションモードから選択できます。

AUTO eDRIVE

80km/hまでの完全なEV走行。これより高い速度での走行時、非常に強力な加速時、または電池の充電残量が7%未満の際にはエンジンが始動します。

MAX eDRIVE

125km/hまでの完全なEV走行。これより高い速度での走行時、またはキックダウン時にはエンジンが始動します。

SAVE BATTERY

内燃エンジンを使っての走行開始の場合、電池の充電残量が90%以上に維持され、場合によっては始動モーターを通してこのレベルまで上げられます。



メディア情報

Date October 2016

Topic 新型MINI Cooper SE Countryman ALL4。

ページ 7



P90240759.jpg

しておくこともできます。

MINI Cooper S E Countryman ALL4にナビゲーションシステムが搭載されている場合は、目的地まで道案内する際に適切な区間で完全EV走行をするように、事前にエネルギー管理が行われます。ハイブリッドシステムは、ナビゲーションデータを考慮して大容量電池のエネルギー容量を最大限に利用するように設計されています。



P90240760.jpg

標準設定のAUTO eDRIVEでは、MINI Cooper S E Countryman ALL4は最高速度80km/hまで完全にEV走行します。これより高速の場合、および積載荷重が非常に大きい場合には、自動的にエンジンのスイッチが入ります。MAX eDRIVEモードでは、125 km/hまで電気モーターの動力のみで走行します。SAVE BATTERYモードを選択して大容量電池の容量を節約し、バッテリー容量を90%以上まで高め、後で排出ガスなしで走行するために十分な電気エネルギーを残

多彩かつ様々な利用できる室内。コンパクトな構造とeDriveコンポーネントの配置のおかげで、新型eDriveのプラグインハイブリッドモデルでは多彩に利用できる室内を実現しています。わずかに高くなった後部座席の下には、高容量のバッテリーと35リットル容量の燃料タンクが設置されています。すべての座席を利用する場合のMINI Cooper S E Countryman ALL4のラゲージルーム容量は、従来型のエンジン搭載モデルのものに比べて減少していますが、その違いはわずかなものです。さらに、バック

メディア情報

Date October 2016

Topic 新型MINI Cooper SE Countryman ALL4。

ページ 8

レストを40: 20: 40の割合で分割して折りたたんだり、角度を調整したりすることが可能です。「ハイブリッド技術は全体として、車内で従来モデルとの違いを感じないように導入されています。例外は、様々な走行モードを有効にできる運転要素のみです」と、MINI Cooper S E Countryman ALL4のプロジェクト責任者のウヴェ・ザイツは語ります。

ハイブリッド特有のデザイン仕様とディスプレイ。

MINI Cooper S E Countryman ALL4の外装では、控えめながらも紛れもない最先端のモーターの特徴が、モデル特有のデザインに表れています。充電ケーブルのコンセントは左側のサイドスカットルのカバーの後ろにあります。その他の特徴としては、モデル特有の「e」のバッジがサイドスカットル上に配置されているほか、黄色の「S」がモデル特有のフォントでリアとフロントグリル、ドアシルに配置されています。

コックピットの特徴として、トグルスイッチの中央にある黄色のスタート / ストップボタンやステアリングコラムのコンビネーションメータの出力ディスプレイが挙げられます。MINI Cooper S E Countryman ALL4では、Radio MINI Visual Boostと中央計器の6.5インチ大のカラーディスプレイが標準仕様となります。中央計器にはMINI Country Timerのほか、大容量電池の充電残量、eDriveのトグルスイッチによって選ばれたハイブリッドモーターのオペレーションモードからの情



P90240545.jpg

メディア情報

Date October 2016

Topic 新型MINI Cooper SE Countryman ALL4。

ページ 9

報が表示されます。MINI Navigationssystem Professionalが含まれているオプションのWiredパッケージでは、新しいグラフィックデザインとタッチスクリーン機能を備えた8.8インチ大のディスプレイ上で、またはセンターコンソール上のタッチコントローラでの操作が可能になります。

装備：効率性と個性の融合。

MINI Cooper S E Countryman ALL4

は非常に効率性に優れ、走る愉し P90240755.jpg

みと多彩な室内コンセプト、さらに高級小型車セグメント向けの新型オールラウンド車に特徴的なイノベーションのすべてを融合しています。さらに向上した走行性と一段と洗練された高級感に加え、印象的なデザインを採用し、巧みに室内空間が確保されています。MINI Cooper S E Countryman ALL4にはMINIドライビングモードを標準仕様。eDriveのトグルスイッチで選択されたオペレーションモードとは別に、特にスポーティあるいは効率的な走行に合わせて車両を調整できます。



メディア情報

Date October 2016

Topic 新型MINI Cooper SE Countryman ALL4。

ページ 10

新車の公式の燃費、公式の特定CO₂排出量、および電力消費量についての詳細は、全ての販売代理店、Deutschen Automobil Treuhand GmbH (DAT)(Hellmuth-Hirth-Str. 1, 73760 Ostfildern-Schornhausen) または<http://www.dat.de/angebote/verlagsprodukte/leitfaden-kraftstoffverbrauch.html>のウェブサイト上にある「新車における燃費、CO₂排出量および電力消費の手引き」からご覧いただけます。CO₂の手引き (PDF - 2.7 MB)

In case of queries please contact:



Dominik Schaidnagel, Communications MINI
Phone: +49-89-382-50181, Fax: +49-89-382-28567
E-Mail: dominik.schaidnagel@mini.com



Andreas Lampka, Head of Communications MINI
Phone: +49-89-382-23662, Fax: +49-89-382-28567
E-Mail: andreas.lampka@mini.com



Markus Sagemann, Head of Communications MINI, BMW Motorrad
Phone: +49-89-382-68796, Fax: +49-89-382-28567
E-Mail: markus.sagemann@bmw.de